

帯広協会病院

所属メンバー

- ・青柳 勇人 (主任部長、平成 3 年卒)
- ・鳴神 雅史 (医師、平成 19 年卒)
- ・山口 健史 (医師、平成 20 年卒)
- ・近藤 英輔 (医師、平成 21 年卒)
- ・服部 哲夫 (非常勤、昭和 55 年卒)

卒後臨床研修医

0 名

専門外来

- ・神経外来 (×1/3 ヲ月)
- ・内分泌外来 (×1/3 ヲ月)
- ・腎臓外来 (×1/3 ヲ月)
- ・血液外来 (×1/月)

帯広協会病院

病院全体の医師数	47 人
小児科医師数	5 人 (うち非常勤 1 人)

病院全体の病床数	360 床
小児科病床数(NICU、ベビーを除く)	21 床
NICU病床数	0 床
新生児病床数(NICUを除く)	7 床

NICU としての認定 なし

平均小児科外来数	84.6 人/日
平均時間外外来数	4.7 人/日 (小児科医が診察したものです)

年間入院患者数	1,531 人/年
年間のべ入院患者数	9,104 人/年 (入院患者数×入院日数)
年間時間外入院患者数	196 人/年

年間分娩数	646 人/年
年間低出生体重児(2,500g未満)数	66 人/年
極低出生体重児(1,500g未満)数	7 人/年
年間呼吸管理患者数	7 人/年

帯広協会病院

論文・著書など

なし

学会発表

全国学会

なし

地方学会

1. 山口健史：ファモチジンが奏功した PFAPA 症候群の一例．北海道小児リウマチ性疾患研究会、札幌市、2012/2/25
2. 近藤英輔：球麻痺症状が目立ったフィッシャー症候群の一例．第 19 回小児神経学会北海道地方会、札幌市、2012/2/24

その他社会貢献など

- ・帯広市心電図判定委員（青柳勇人）
- ・北海道医師会 小児救急講演会（青柳勇人）